

令和6年度 12月の園だより



12月行事予定

1	日	
2	月	頭髪検査
3	火	
4	水	
5	木	みみょうっこ FAMILY①
6	金	成道会 (じょうどうえ) 園開放 みみょうっこ FAMILY②
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	みみょう文庫
12	木	身体計測
13	金	誕生日会 クリスマス会・園開放
14	土	第二みみょうこども園 生活発表会 (4・5歳児) *
15	日	
16	月	避難訓練
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	園開放
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	もちつき 
26	木	
27	金	
28	土	御用納め
29	日	
30	月	
31	火	

1月の行事予定

- 6日(月) 御用始め(保育開始)
- 17日(金) 避難訓練・誕生日会
- 25日(火) 1・2歳児給食試食会(案)
- ※年末年始のお休み
- 12月29日~1月5日まではお休みです。



く考えるっておもしろい!子どもは小さな研究者>

公園の色とりどりの葉も、風に吹かれてひらひら舞い、落ち葉のじゅうたんが広がっています。先日、0.1歳児の子どもたちと公園へ出かけると、大きな木の下に、いがいがの実(フウの実)がたくさん落ちていることに1歳児の1ちゃんとAちゃんが気が付きました。子どもたちにはどうやら“まっくろくろすけ”に見えるようで、保育士と一緒に大きな木が風に吹かれるたびに、落ちてくるのを見上げて待つかわいい姿や、0歳児の1くんもイチョウ葉を手に取り、嬉しそうに保育士に持って行き、見つけた嬉しさを伝えようとする姿など、小さな秋を思いおもいに感じている様子でした。これから、だんだんと寒くなっていきますが、子どもたちと季節の変化も楽しみながら、そして、子どもたちの気づきや思いに共感し、その瞬間を大切に過ごしていきたいと思ひます。



モミジバフウの実

みみょう保育園のちょっとした空間には子どもたちの興味・関心、好奇心をくすぐる素材がいっぱいです。先日、1階靴箱の上に色や形、大きさが違うかぼちゃなど季節の野菜や果物を飾っていると、1歳児のTくんが手に取り写真のように重ねている場面に出会いました。

はじめは、手に取った“かぼちゃ”から積み重ねていましたが、なかなかうまくいきません…何度か繰り返すうちに、積み重ねることができましたが、最後の“かぼす”がまたまたうまく乗りません。



10分程度経過し、ゆっくり手を離します。側で見ている保育士もあえて言葉はかけず、見守っています。やっとの思いで積み重なった時、二人とも満面の笑顔で目と目を合わせていました。あそびの中の一場面ですが、その姿から子ども自身が「こうやったらどうなるかな?」「なんでうまくいかないのかな?」など仮説を立てるように考え、納得がいくまで繰り返し、満足するまでやり続ける姿がありました。子どもたちには、玩具だけではなく、水や泥、木の枝、箱などあらゆる素材や物が探求の元となるのです。Tくんの姿から乳児期の豊かな環境やあそびこそ、子どもの育ちに重要であると改めて考える機会となりました。

みみょう保育園では、豊かな環境の中でさまざまな事柄に触れる機会を大切にしています。今の子どもをしっかりと受け止め、子どもが考え、工夫している姿を見逃さないように過ごしています。子ども自身がやりたいことができる、考えたことを試せる豊かな環境で満足するまであそび続けることで、更なる探求心や学びに向かう意欲など、自分で考えることが好きな子どもへとそして、自分で考え、判断できる人へと育てていくのです。

そこには、私たち大人の存在も大切です。子ども自身が感じることや気づいたこと、目線やしぐさなど側で寄り添い、時には共感したり、「こうしてみる?」と提案するなど子どもと心と心を通い合わせていくことで、安心してやりたいことができるのではないのでしょうか。

送迎時、園庭の冬野菜の前で「だいこんだね」とお話したり、めだかの池を一緒にのぞき込むなど、親子で対話する姿をほほえましく思っています。これからも、子どもたちの姿を保護者の皆様とも共有し、一緒に子育てをしていきたいと思ひます。

早いもので、師走を迎えました。保護者の皆様のご理解、ご協力の中でお子さんの健やかな成長を共に喜び合えたことに感謝申し上げます。ご心配をおかけしたこともありますが、来年も、子どもたちの笑顔いっぱいの1年でいられるよう、“楽しい保育”を邁進してまいります。

みみょう保育園 園長

じょう どう え
成道会

12月8日(日)は成道会です。
園では12月6日(金)に行います。

インドのシッドルタ王子(後のお釈迦様)が長い修行の末、お悟りを開かれた日が12月8日です。この日は、成道会の式を行い、「良い子になりますように」とみ仏様に手を合わせます。健やかに、そして、『感謝と思いやり』の心を持ち、『何事にもやる気のある子ども』に育ってくれることを念じています。

第二みみょうこども園の幼児組さんは成道会(じょうどうえ)に参加します。みみょう保育園の子どもたちも大きくなったら参加しましょうね。



もちつき

12月25日(水)

昔は、どこの家でも年末に餅をつく杵の音がひびきわたっていました。今では、臼、杵、釜、蒸籠といった道具も家庭で少なくなっており、機械でついたり、店で買ってきたりしているようです。

もちは「望」に通じ、物事が満ち足りたことをあらわします。正月に餅を供えて家族みんなが満足に、希望がかなえられるようにと願うのが習わしでした。

※2歳児きりん組さんは、第二みみょうこども園まで歩いていき、お餅つきの様子を見に行きます。「よいしょ よいしょ」と掛け声が聞こえてきそうですね。

消さないで
あなたの心の
注意の火

